

授業科目	保育実習指導Ⅲ				単位	1			
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE31630J			
開講年次	4年	開講時期	通年	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2				
担当教員	文屋 典子、山根 正夫								
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、児童福祉施設における子どもや保護者に対する支援の経験に基づき、実習先施設の機能・役割、子どもを理解する視点、保育士に求められる知識・技術と、保育実習Ⅲに臨むにあつての姿勢・心構えについて確認する。事前学習を深め、各自の実習課題を明確にする。実習記録の書き方、保育指導案や個別支援計画の立案について学ぶ。守秘義務や危機管理について確認する。実習に必要な書類の作成や事前訪問などを実行する。実習後は個別面接により実習の振り返りを行い、各自の実習での学びを整理し、実習報告会にて発表する。</p>								
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に臨むにあつての姿勢・心構えを身につける。 2. 実習先施設の機能・役割と保育士の業務について理解する。 3. 子どもを理解する視点を理解する。 4. 保育に関する知識や技術、適切な実習記録作成など、実習で求められる知識と技術を理解する。 5. 守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 6. 実習での体験や保育活動を専門的技術として概念化し、体系立てていくことができる。 								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	0	60	20	20	100		
知識・理解 (DP1-1)				0					
知識・理解 (DP1-2)			0	5	5		10		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)				5	5		10		
思考・判断 (DP2-2)				5			5		
関心・意欲 (DP3-1)			0	10	5		15		
関心・意欲 (DP3-2)				10	5		15		
態度 (DP4-1)						5	5		
態度 (DP4-2)				5		5	10		
態度 (DP4-3)				10		5	15		
技能・表現 (DP5-1)				5		5	10		
技能・表現 (DP5-2)				5			5		
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
標準的なレベルの1～6に到達したうえで、自己の課題を明確にし、その改善に向けた取り組みを実行できる。					<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に臨むにあつての姿勢・心構えを身につけている。 2. 実習先施設の機能・役割と保育士の業務について理解している。 3. 子どもを理解する視点を理解している。 4. 保育に関する知識や技術を実践し、適切な実習記録や指導案を作成することができる。 5. 守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 6. 実習での体験や保育活動を専門的技術として概念化し、体 				

		系立てていくことができる		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 実習に臨む心構え、授業の進め方、事前学習を行って理解しておくべきこと、各自が明確な課題をもって実習に臨むための準備を進めていくことを確認する。	講義	明確な課題をもって実習に臨むための事前学習計画をたて、事前学習の準備を進める。	60
2	テーマ:事前学習計画の確認と書類作成 事前学習計画を確認し、事前学習テーマを決定する。実習生紹介票、実習誓約書、実習計画書の書き方について指導する。	講義・個別指導・グループ学習	実習書類の作成とグループワークを進めるための資料収集を行う。	60
3	テーマ:実習施設における子ども理解の視点について 資料を読んで子ども理解の視点について理解を深め、グループワークでポイントを整理する。 実習書類の作成についても個別指導を行う。	講義・個別指導・グループワーク	実習書類の作成とグループワークを通しての気づきを記録し、さらに自己学習を深める。	60
4	テーマ:実習施設における子ども理解の視点について グループワークのまとめを発表し共有する。各自の実習課題とむすびつけ、さらに事前学習を深めるべき事項について確認する。	グループワーク	さらに事前学習を深めるべき事項について整理し、自己学習を進める	60
5	【外部講師を迎えて】 「児童養護施設の現状と保育士の業務について」	講義	講義の内容を整理し、「児童養護施設の現状と保育士の業務について」レポートを作成する	60
6	テーマ:実習記録の書き方と事前訪問について 保育実習1の記録を振り返りながら実習記録の書き方について指導する。危機管理について確認し、実習記録の記述の中に危機管理の視点が表れているかどうかを確認する。事前訪問についての指導も行う。	講義と個別指導	返却した実習記録に目を通し、改善すべき点を整理しておく。	60
7	テーマ:実習先で求められる保育の技術 実習先で求められる保育の技術について実践し、指導する。	演習	実習先で求められる保育技術について復習し、製作物などの準備をすすめる。	120
8	テーマ実習前直前指導 注意事項、緊急時の対応について、巡回訪問について等の確認と各自の実習課題についての再確認を行う。	講義と個別指導	各自の事前学習した内容を整理し、理解する。最終確認での注意事項は、実習開始までに繰り返し確認すること。	60
9	テーマ:実習後個別面接と実習の振り返り 個別面接を実施し、実習での学びを振り返る。実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて、実習報告会の発表準備をすすめる。	個別指導	実習での学びを振り返り、実習報告会の発表準備を進める	60
10	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。	実習報告の発表	他者の発表やコメントを振り返り、感じたこと、気づいたことについては書き留めておくこと。	30
11	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。	実習報告の発表	他者の発表やコメントを振り返り、感じたこと、気づいたことについては書き留めておくこと。	30

12	<p>テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。</p>	実習報告の発表	他者の発表やコメントを振り返り、感じたこと、気づいたことについては書き留めておくこと。	30
13	<p>テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。</p>	実習報告の発表	他者の発表やコメントを振り返り、感じたこと、気づいたことについては書き留めておくこと。	30
14	<p>テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。</p>	実習報告の発表	他者の発表やコメントを振り返り、感じたこと、気づいたことについては書き留めておくこと。	30
15	<p>テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。</p>	実習報告の発表	他者の発表やコメントを振り返り、感じたこと、気づいたことについては書き留めておくこと。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	児童福祉施設の役割と機能、発達心理学や障害特性、その他子どもの行動の特徴を理解するための理論に関する資料を整理しておく。保育に関する知識と技術を復習し理解しておく。			
テキスト	「保育実習マニュアル」 西南女学院大学保健福祉学部福祉学科 子ども家庭福祉コース 基本保育シリーズ 20 「保育実習」 公益財団法人 児童育成協会 監修 中央法規			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	実習施設の種別に応じて、事前学習段階で目を通しておくべき文献や資料を紹介します。主体的かつ積極的に各自の学びを深め、実習に臨む準備を整えましょう。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習に関連する資料として事前学習で用いた資料は一冊のファイルに綴じておきましょう。実習中の考察や実習後の振り返りにも役立ちます。
達成度評価に関するコメント	実習前のレポート課題、実習に関連する提出物、実習後の報告会での発表、その他(実習に必要な書類の作成等実習に向けての準備状況、実習後のまとめの状況)により評価します